## 2023年 新年交歓会

## 北島会長 「感動と夢を与える新しい産業

昨年同様、賀詞交換会と懇親会を時間差で開催

年初恒例の一般社団法人日本印刷産業連合会(北島義斉会長) 主催の「2023 年新年交歓会」は1月 6日(金)午後4時30分から、東京・虎ノ門の「The Okura Tokyo・平安の間」に、官公庁、会員10団 体、関連団体の皆様など455名が参集しての華やかな新春の宴となりました。昨年に引き続き、賀詞交 換と懇親会を区切って実施したほか、会食時以外マスクの着用、テーブルを予め指定しての歓談など、感 染対策を施しての新春の集いとなりました。

2023 年新年交歓会は、日印産連・北島義斉会長の新年挨拶、経済産業省商務情報政策局審議官の藤 田清太郎氏の来賓祝辞のあと、お祝いに駆けつけた衆議院議員の山田美樹氏、海江田万里氏が登壇、そ れぞれお祝いと新年の抱負を述べられました。乾杯の前に、賀詞交換の時間を設定、会場内いたるところ で新春の挨拶や賀詞交換が展開されました。このあと、印刷インキ工業会会長の北川克己氏の発声で乾 杯が行われ懇親会が開宴しました。

祝電披露をはさんで、午後6時前、10団体会長が登壇、日本印刷産業連合会副会長の滝澤光正氏の音 頭で中締めを行い、2023年新年交歓会を終えました。

開会に先立ち新春の挨拶に立った北島義 斉会長は、出席のご来賓、参加の各位に謝 意を表した後、「新型コロナウイルスの影響は まだまだ続いておりますが、国内では3年ぶ りに行動制限のない年末年始を送ることがで きました」と前置きし、昨年を振り返り、「サ プライチェーンの混乱や、原材料価格の上昇、 為替の変動など、国内外ともに先行き不透明 な状況が続きました。印刷業界においても、 用紙をはじめとした原材料価格やエネルギー 費の高騰など、厳しい経営環境でした。この 間、コロナ禍をきっかけのひとつとして、私た ちの働き方や暮らし方が大きく変化していま

す。こうした変化は、人と人とのコミュニケーションバランス をもとに生活を支え文化を育んできた印刷産業にとって、大 きなチャンスと捉えることができます。そこで日印産連では、 長期的な視点に立って、持続可能な環境、社会、経済の 実現に向けて会員10団体とともに2030年を見据えた印刷 産業のあるべき姿を描こうと、新たなグランドデザインの策 定に着手してまいります。

日印産連は、「Change Together 感動と夢を与える新し い産業へ」をスローガンに掲げ、SDGsのゴール達成に向 けた活動を中心に、さまざまな取り組みを展開してまいりま した。政府が掲げる成長と分配の好循環による「新しい資



本主義 | の実現に向け、重点分野でもある『GX』(グリー ントランスフォーメーション) | や 『DX』 (デジタルトランスフォー メーション)を推進し、さらに新しい価値の創出の獲得に 繋げてまいります。

現在避けて通ることのできない課題の一つは脱炭素社会 の実現です。地球環境の課題解決に対する人々の関心の 高まりを受けて、私たちは昨年、印刷産業の「2050年カー ボンニュートラル宣言」を発信しました。従来からの省エネ 施策のさらなる促進や、再生可能エネルギーの導入促進な どを通じて、印刷業界全体の生産性向上、エネルギー使 用量の極小化に力を入れています。また、SDGs のゴールと









祝辞を述べる海江田万里衆議院議員

も連動して、つくる責任、使う責任など環境に配慮した工場を認定する『グリーンプリンティング認定』の事業拡大にも注力してまいります。

あらゆる産業を顧客としているということは私たち印刷産業にとって強みですが、多種多様な取引をより適正なものにしていくことも重要なテーマでもあり、昨年経済産業省の指導の下、「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」を策定しました。価値創出につながる取引慣行など、取引の望ましい形として普及定着させることは重要であり、今年は更に積極的に推進してまいります。

今年の「9月 印刷の月」は、4年に一度の「印刷文化典」の年です。この3年間、印刷の月の懇親会は行ってまいりませんでしたが、4年ぶりに多くのご来賓の方や会員企業の皆様一堂に会して盛大に開催できますことを今から願っております」と新年の所信を述べた。

ついで、ご来賓を代表して、経済産業省商務情報政策 局審議官の藤田清太郎氏が来賓祝辞に立ち、「今日世界 は、気候変動、コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵略とい う大きな3つの危機に直面しています。とりわけ日本にとって は、少子高齢化、人口減少への対応が求められています。 こうした局面を乗り越え、強靭で柔軟な経済を構築するため、経済産業省では、昨年の臨時国会で成立した補正予算を速やかに執行し、物価・エネルギー価格高騰への対応、グリーン・トランスフォーメーションの推進、省エネ支援などに取り組んでまいります。

引き続き厳しい経済状況の中、印刷産業の持続可能な発展に向けても、印刷の枠を超える新たな価値創造が非常に重要となっています。貴連合会は「Change Together 感動と夢を与える新しい産業へ」をスローガンに掲げ DXや環境など SDGs に精力的に取り組まれていると承知しております。長年培われ蓄積された印刷技術と新たなサービスを組み合わせ、印刷産業全体としての生産性向上と付加価値創出に取り組んでいただき、我が国経済の牽引役となることを期待しています。経済産業省としても、新分野展開、業態転換、事業・業種転換などの思い切った事業再構築に対する支援や、デジタル化などの生産性を向上させる前向きな設備投資への支援を通じて応援させていただきます。

印刷産業は商業印刷や出版印刷を始め、身の回りのさまざまなものに関わっており、あらゆる産業を顧客とされています。サプライチェーン全体の取引の適正化という観点から



賀詞交換の会場風景、昨年に比べ大盛況







歓談する北島会長

乾杯・北川克己印刷インキ工業会会長

印刷業界におかれましては貴連合会を中心として昨年3月に 自主行動計画を策定されました。経済産業省は印刷産業の 皆様とともに、下請ガイドライン改訂案及び印刷産業におけ る取引改善等に向けた方策を検討しており、引き続き強く連 携して取り組んでまいりたいと考えています。

今年は、十干十二支の「癸卯」であり、これまでの努力 が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言わ れています。日本が挑戦し変革していく姿を国内外に発信 できるよう、新しい一歩を踏み出しましょう。我々経済産業 省も、皆様の後押しができるよう、職務に邁進してまいります」 とお祝いのスピーチを行った。

ついで、壇上に上った山田美樹衆議院議員は、「外国人 労働者の問題は有識者会合が立ち上がり、特定技能、技 能実習生についてどのような形で制度をより良くしていくかと いう議論が始まっています。また、グリーン購入法について も、行政では小手先の対応ではなく抜本的な現実に即し た対応をするように働きかけているところです」とスピーチを 行った。また海江田万里衆議院議員は、「昨年末私の著書 が刊行されましたが、本の価格が高い。仕入れの紙の値段、 印刷のインキの高騰などでこれがギリギリの値段だと聞きま

した。印刷は日本の経済にとって欠かすことのできない産業 ですので、私も及ばずながら業界を応援していきたい」とス ピーチを行った。

この後、乾杯の挨拶に立った印刷インキ工業会会長の北 川克己氏は、歴史的な円安の進行によるさまざまな影響に 言及、これらを克服するための協力を呼びかけた。引き続 き乾杯にうつり、氏の「ブラボー」の元気なかけ声のもと乾 杯が行われ懇親会が開宴した。

祝電披露をはさんで、午後6時頃、10団体会長が登壇、 日本印刷産業連合会副会長の滝澤光正氏が「メディアのデ ジタルシフトは加速していくと思われますが、印刷産業は今 後、高付加価値コミュニケーションサービス産業として、引 き続き新しい社会の皆様のお役に立つチャンスは多いにあ ります。なぜなら人々の好奇心には限りがないからです。新 しいことをどんどん知りたい、発信したいという欲望はとど まるところを知りません。また、生活を豊かにしたい、便利 にしたいという欲望はとどまるところはありません。そこに、 私たちの新たな商機は必ずあると信じています。日印産連と 10団体が結束して、『感動と夢を与える新しい産業へ』と 心を新たにし、本日を今年の新たなスタートといたしましょう」

と述べ、滝澤副会長の音頭で、参会者 全員で元気に手締めを行い、2023年の 新年交歓会を終えた。

## 2023年

一般社団法人 日本印刷産業連合会



10 団体会長が登壇



中締めの音頭をとる 日本印刷産業連合会副会長の滝澤光正氏